ドアロックアクチュエータキット　取扱説明書

ドアロックモーター　２本線　MODEL 46-0PDM2K-24
ドアロックモーター　５本線　MODEL 46-0PDM5K-24

本製品は生産後及び出荷前にダブル動作チェックをし、万全の状態でお客様にお届けしています。取付に関しましてもこの説明書をよくお読みになって破損や事故のないよう十分注意していただくようお願申し上げます。

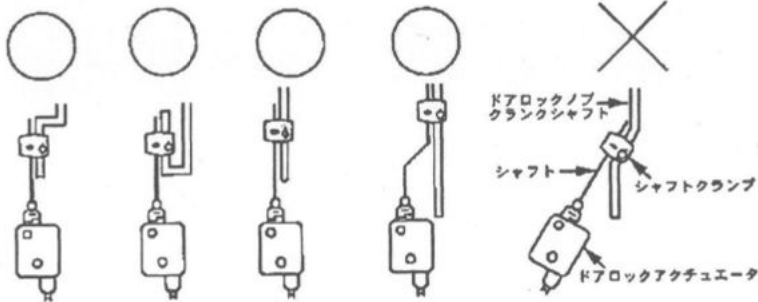
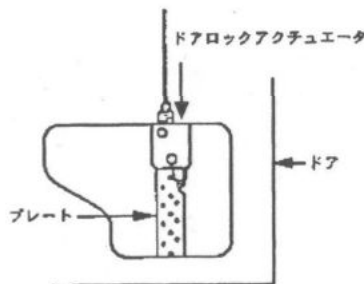
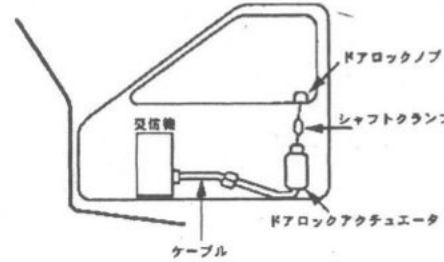
取付前の注意

●本製品は原則として、開封、使用後の返品には応じられません。また、取付の際、万が一、製品及び車両の破損、事故等が発生しても一切責任を負いません。取付の際は十分注意してください。
●本製品を取付ける前に、必ずテスターで車両および本品の特性をチェックしてから作業を行ってください。配線を間違えると破損や故障する場合があります。配線ミスによる破損、故障は有償修理となります。
●配線作業中は事故防止のため、バッテリーのマイナス端子を外してください。また製品の中には延長コード、ギボシ等は含まれておりません。
●プレートは車種によって取付スペース・位置が異なるため、付属のものにこだわらず、市販の物でそれぞれの車にあったものをお使いください。
●メスギボシは本セットには含まれていません。
●シャフトクランプを締めすぎて破損させないようにしてください。
●シャフトを何回も曲げますと、折れやすくなるのでご注意ください。

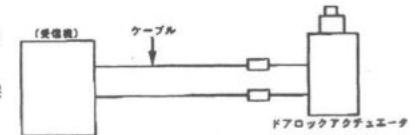
使用上の注意

●本品は落としたり、物にぶつけたりすると不調、故障の原因となります。また、水濡れ、湿気は厳禁です。また過度の暑さや寒さを与えると作動しなくなることがあります。
●本品を本来の目的外に改造された場合や、分解、外国で使用した場合の責任は一切負いません。

取付方法

1、運転席側のドアの内張を外す。
2、ドアロックアクチュエーターの装着位置を決める。
　●アクチュエーターとドアロックのクランクシャフトを平行にする。
　●可動部がスムーズに動くようにする。
　●アクチュエーターが他の物（ガラス等）に当たらないようにする。

3、アクチュエーターをネジ止めで固定する。
　（固定するドアフレームのない場合は、付属のプレート等を利用する）

4、長さを調整して、シャフト同士をシャフトクランプで固定する。
　●アクチュエーターのストロークとクランクのストローク差が片寄らないように調整する（片寄っているとモーターは、やがて焼きついてしまいます）。
　●シャフトクランプのネジ締めを確実にする（クランプをねじ切らない程度に締める）。
5、延長ケーブルを、運転席ドア側より車内に配線して接続する。
　●アクチュエーターの取付け方法により配線が逆になることもあるので、キーレス送信機よりドアスイッチを操作して、指令通りに動作するか確認する。

部品構成

ドアロックアクチュエーター
シャフト
ねじ（大）
ねじ（小）
スピードナット
シャフトクランプ

注：手動にてドアノブを操作すると、リンク機構が外れて送信機からの操作と連動しないことがあります。
　　その場合、現在のドアノブの状態と同じ方向にキーレス送信機より操作して、それから次の操作を行ってください。

取付上の注意

～アクチュエータがうまく作動しない時は、次のことが考えられます～

1、配線接続のゆるみ
2、モーター取付の際のストロークの片寄りから生じる半ロック状態
・モーターのリンク部分に負荷がかかっていない状態で作動させると半ロック状態になり、一時的に動かなくなることがあります。
・2はモーターを破損させることがありますので、充分注意してください。
　また、継続して電流を導電させるとモーターは焼き付いてしまいます。

＊２のテスト方法
モーターを固定し、モーターのリンク部分にある程度負荷をかけた状態で、緑／青、2本の線の片側をアースに落として、反対側に**24**ボルトを一瞬導通させてください（導通を継続させるとモーターが焼けてしまうことがあります）。これを交互に繰り返し、作動すればモーターは正常です。この場合取付けたクランプの接続位置をずらして正常作動する位置にしてください。

ドアロックアクチュエーター（モーター）のシャフトと車側シャフトを接続する際は、ストローク差がかたよらない位置でシャフトクランプにより接続してください。
位置が悪いと電気が一定時間以上モーターに流れてしまい、モーターが焼けてしまうことがあります。なお、この場合のモーター交換は有償となります。

補修パーツ（税別価格）

・シャフト￥800
・シャフトクランプ・スピードキット￥800
・ネジセット￥800

www.to-fit.co.jp